

2013 年 1 月 7 日

子どもの笑顔のための CSR「1 チョコ for 1 スマイル」スタートから約 5 年

日本初！支援地区のカカオを使用した 次世代型 CSR チョコレート

バレンタイン・シーズンに数量限定発売
本業を通じた次世代 CSR で継続的な支援へ

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・矢田雅之）は、日本 / 業界初の試みとして、2013 年のバレンタイン・シーズンに向けて、支援を行っていたガーナの特定期間で採れたカカオを使用した 2 種のチョコレート「70g 森永チョコレート<1 チョコ for 1 スマイル>」、「ダース<ミルク>」を発売いたします。

森永製菓は、創業 110 周年を記念した CSR 活動として、お客様と一緒に子どもたちの笑顔のための売上連動型コースプロモーション※「1 チョコ for 1 スマイルキャンペーン」を、2008 年から開始。国際協力 NGO の活動支援を通じて、対象商品 1 つにつき 1 円をカカオ生産国における子どもたちの教育支援、およびカカオ農家の自立支援活動に充てる活動を行って参りました。

できることから少しずつという地道なこの活動も、多くの方からご支持頂いた結果、開始から 5 年がたった 2013 年のバレンタインに、支援が新たな形で実を結び、原料の一部にはなりますが支援地区で収穫されたカカオを使用した 2 種類の商品を発売できる運びとなりました。

この活動は、創業者 森永太郎の「世界の子どもたちをお菓子で笑顔にしたい」という想いを具現化したと同時に、菓子を通してお客様と一緒に支援の輪（和）をつくる活動でもあります。今回の 2 種類の商品の発売により、お客様に購入して頂くことでカカオ農家の支援が可能となり、さらにその支援地区で栽培されたカカオを使って商品を生産・発売するという、これまでにない「お客様と一緒に笑顔をつくる支援の循環」が実現しました。私ども森永製菓は、本業による CSR を通じて、今後とも継続的にカカオ生産地域の子どもの笑顔を増やすための活動に取り組んで参ります。

※コースプロモーションとは、社会的意義を訴求して参加を促す販促手法



【イメージ図】

お客様と一緒に笑顔をつくる支援の循環

【商品概要】

①「70g 森永チョコレート<1チョコ for 1スマイル>」

- ・キャンペーン支援地区のカカオマスを主原料にした、風味豊かなミルクチョコレート。
- ・支援地区のカカオマス含有率は、全カカオマス中 80.4%。
- ・物語としてコンセプトをご理解頂くために、絵本型の“開いて読む”パッケージにも工夫を凝らしキャンペーンを通じたこれまでの取り組みと成果、記念商品ができるまでの概要を紹介。



表面



中面（二つ折り/キャンペーン趣旨記載）



②「ダース<ミルク>」

- ・「ダース」を通じてこれまでのキャンペーンをご支持頂いたお客さまに、活動の成果で実ったカカオを、再び「ダース」を通じて還元させて頂くために開発。
- ・オリジナルの「ダース<ミルク>」の原料カカオマスの一部を、支援地区のカカオマスに置換。
- ・支援地区のカカオマス含有率は、全カカオマス中約 8.8%。
- ・「ダース<ミルク>」の本来の風味 / 価格を変えることなく、スペシャルバージョンにてご提供。
- ・パッケージの一部を利用して、支援地区のカカオマスを一部原料に使用していることを訴求。



パッケージに、原料の一部に「1チョコ for 1スマイル」キャンペーンの支援地区で採れたカカオを使用している旨記載。

商品名	70g 森永チョコレート <1チョコ for 1スマイル>	ダース<ミルク>
名 称	チョコレート	
発売日	2013 年 1 月 15 日（火） ～ 2 月下旬	2012 年 12 月 25 日（火） ～ 2 月下旬
発売地区	全国全ルート	
内容量	70g（35 g × 2 枚）	12 粒
参考小売価格	315 円（税込）	105 円（税込）
ターゲット	社会貢献に関心のある方	ダースファン
JANコード	4902888214103	4902888117053

★チョコレートができるまでの工程は、弊社 HP バーチャル工場見学をご覧ください。

（http://www.morinaga.co.jp/factory/fac_tour/chocolate/index.html）

【1 チョコ for 1 スマイルとは】

ガーナをはじめとするカカオ生産国のカカオ農家の多くが小規模であり、生産技術が未熟なこともあって、十分な収入が得られないまま貧困層が拡大。子どもたちが学校に通えず、危険な労働に従事させられるといった社会問題が指摘されています。

森永製菓は、創業 110 周年を迎えた 2008 年から商品売上連動型 CSR「1 チョコ for 1 スマイル」キャンペーンを開始。国際協力 NGO を通して教育環境の整備や農業技術の向上などカカオ農家の自立を支援するために総額 1 億 1 千万円強を提供して参りました。

支援開始から数年が経過した現在、さまざまな活動が着実な成果を見せ、学校に通うカカオ農家の子どもたちにも笑顔が広がり始めています。お客さまとともに「おいしいチョコで生産者と購入者を繋げる」この活動を通じ森永製菓は、創業者 森永太郎が語った創業当時の夢、「世界の子どもたちに貢献できる企業になる」への実現にむけてまた一歩前進しました。

- ・ 連携している国際協力 NGO
- ・ 特定非営利活動法人 ACE (エース)
- ・ 公益財団法人プラン・ジャパン
- ・ これまでの支援対象国 (実施順)



フィリピン、カメルーン、ガーナ、エクアドル、インドネシア
(東日本大震災直後期間は、東北地方の被災地支援を実施)

- ・ 累計寄付総額

1 億 1,103 万 8,083 円 (2012 年 2 月 14 日現在)



ガーナでの教育環境整備

★詳しくは「1 チョコ for 1 スマイル」公式サイトをご覧ください。

(<http://1choco-1smile.jp>)



農業支援活動

【支援地区で採れたカカオが商品になるまで】

ガーナ共和国アシャンティ州アチュマ・ンブニャ郡の奥地にあるクワベナ・アクワ村など、ACE を通じて支援してきた地区で収穫されたカカオ豆を買い付け、ガーナ国内でカカオマスに加工した原料を輸入して、商品化。

小さな村単位のカカオを選別して確保しなくてはならないため、従来とは全く異なった複雑な流通ルートを構築する必要がありましたが、集荷業者、ガーナ政府が管轄する商社、カカオマスの加工業者など、流通上の重要なポイントで関わる現地の人々にこのプロジェクトの持つ意義を粘り強く話をし、ようやく商品化に繋げることができました。

